

パンフレット資料

医学部予備校ACE Academyについて

注意:こちらの資料は情報が古い場合があります。
公式ホームページおよび説明動画をご確認ください。

▼医学部予備校ACE Academy

・当塾の説明動画

<https://youtu.be/Qnf3wjZT3nM>

・公式ホームページ

<https://igakubuyobiko.com/>

医学部予備校ACE Academy(エースアカデミー)とは

医学部予備校ACE Academyは医師・医学生が運営指導する予備校です。

自身の医学部受験の経験やこれまでの指導経験から、学習効率を追求した指導システム を構築し、毎年国公立や難関私立をはじめとする多くの医学部合格者を輩出しています。

「医学部受験において最高峰の指導をより安く提供すること」を第一の理念とし、東京 にある医学部専門予備校で最も安い学費と、高い合格実績を実現しています。

大手予備校と同じ(もしくはそれ以下の)学費で、医学部合格に向けて最も効果的な 指導を提供いたします。

対象

医学部受験合格を志す人(高校1年生～3年生、浪人生、再受験生)

当塾で学習する意欲のある人

※国公立医学部、私立医学部共に対応。旧帝大、最難関医学部まで対応。

当塾の特徴

「医学部に合格できる人」になるための指導

医学部受験生を指導してきた中で、成績を大きく伸ばし医学部に合格した生徒様と、そうでない方との一番の違いは、「考え方」と「習慣」にあると私たちは考えています。

「ご両親にお金を出してもらって塾や予備校に通っているにも関わらず、ただだらとした生活を送り、塾でも勉強に集中するのではなくなんとなく友達にあわせて通っているだけ・・・」
このような環境では「考え方」「習慣」を変えていくことは不可能です。

当塾では規律を守り、最大限の努力をすることが当たり前の環境をつくっています。

毎週の個別課題作成、受験校選び

生徒様個別でカリキュラムを組み、毎週課題を作成しています。
課題がペースメーカーとなり、常に何をやるべきか明確な状態で勉強でき、効率的な学習が可能となります。
また、課題は全教科一括管理で生徒様個別に作成いたしますので、消化不良を起こすことなく学習を進めていただけます。

受験校選びの際も、生徒様個別で最も合格可能性が高くなる推奨受験校を作成いたします。

受験本番の得点力を徹底して養成

医学部受験の難しさのひとつに、共通テスト、国公立医学部、私立医学部いずれにおいても合格点が高く、ミスができない点が挙げられます。

どれだけ勉強をして成績をあげても、本番でしっかり得点してこなければ医学部合格はできません。本番の得点力の養成は医学部受験において非常に重要であり、当塾では最も力を入れて指導しています。

受験本番の得点力を鍛え、試験本番でのケアレスミスや時間配分ミスによる失点を最小限に抑えることで、高い医学部合格率を達成しています。

2023合格実績

2023医学部合格者数:100名(重複除く)

現役 35名

1浪 38名

2浪 12名

3浪以上/再受験 15名

男性46名、女性54名

通塾+Zoom(面談のあるコース)の合格者が80%以上

▽国公立医学部合格 **31名**

・一般入試 26名

新潟大学 1名/金沢大学 2名/京都府立医科大学 1名/群馬大学 1名/信州大学 1名/浜松医科大学 1名/岐阜大学 1名/福井大学 1名/富山大学 1名/札幌医科大学 1名/秋田大学 2名/弘前大学 1名/福島県立医科大学 4名/和歌山県立医科大学 1名/島根大学 1名/鳥取大学 1名/徳島大学 2名/大分大学 1名/琉球大学 2名

・推薦AO入試

群馬大学 1名/新潟大学 1名/富山大学 1名/奈良県立医科大学 1名

・医学部学士編入

群馬大学 1名

▽私立医学部二次合格

・一般入試

慈恵会医科大学 4名/日本医科大学 6名/順天堂大学 2名/国際医療 12名/昭和大学 11名(特待1名)/大阪医科薬科大学 3名/関西医科大学 5名/防衛医科大学 1名/自治医科大学 1名/東邦大学 11名/東京医科大学 9名(特待3名)/日本大学 18名/杏林大学 6名/北里大学 9名/聖マリアンナ医科大学 17名/東海大学 8名/獨協医科大学 3名/埼玉医科大学 2名/東京女子医科大学 3名/帝京大学 6名/岩手医科大学5名/東北医科薬科大学 6名/藤田医科 7名/愛知医科大学 1名/近畿大学 2名/兵庫医科大学 5名/金沢医科大学 2名

・推薦入試 10名(重複除く)

東邦大学 2名/東京医科大学1名/聖マリアンナ医科大学 3名/東海大学 1名/東京女子医科大学 1名/埼玉医科大学 1名/岩手医科大学 1名/金沢医科大学 1名

* 生徒別の合格実績やその他の年度の合格実績・卒業生の合格体験記は[合格実績](#)をご覧ください。

学費・コース

詳細は[学費・コース](#)をご覧ください。

<通塾指導コース>

浪人生、再受験生(通塾回数:週3回)

月額:10万円+税 入塾金:5万円+税

特待生(通塾回数:週3回)

月額:5万円+税 入塾金:5万円+税

○特待生の条件

「模試での成績が基準値以上」もしくは「私立医学部の一次試験通過」のいずれかを満たすこと。最終的な審査は入塾面接にて行います。(審査基準はお答えできかねます。)

高3生(通塾回数:週2回もしくは週3回)

* お好きな通塾回数を選べます。

週3回コース:月額:7万円+税 週2回コース:月額:6万円+税

入塾金:5万円+税

高2、高1、中学生(通塾回数:週2回)

月額:5万円+税 入塾金:5万円+税

<ZOOM面談コース>

通塾コースの指導内容をご自宅にて受講いただけるコースです。

浪人生、再受験生

月額:10万円+税 入塾金:5万円+税

特待生

月額:5万円+税 入塾金:5万円+税

高3生

月額:6万円+税 入塾金:5万円+税

高2、高1生

月額:5万円+税 入塾金:5万円+税

* 面談回数について

受験生(浪人生・高3生・再受験生)は、週2回もしくは週1回のうち、どちらかお選びください。高1-2生の面談回数は週1回となります。

通信指導コース(ZOOM面談なし)

月額:3万円+税 入塾金:なし

指導システム

詳細は[指導システム](#)をご覧ください。

集団授業の廃止と演習時間の確保

無駄の多い集団講義は一切行わず、生徒様自身の演習時間が最大となる指導システムを提供しています。

集団講義という形態は非常に非効率であり、アメリカ国立訓練研究所(National Training Laboratories)により提唱された学習効果ピラミッド(ラーニングピラミッド)では、講義を受ける形式の学習が最も効率が悪いとされています(講義型の学習の定着率:5%)。

「わかった」と「できる」状態は全く別物であり、医学部受験に合格するためには「できる」状態にする必要があります。そのために重要なのは自身の問題演習時間を増やすことであり、学習効率を最大限にすることができます。

個別課題作成と週1回の勉強報告

毎週1回、報告フォーム(PC、スマートフォンから入力)にて勉強報告をしていただき、それをもとに個別で課題作成をしていきます。

これまで350名以上の医学部合格者を輩出してきた塾長(医師)が、全教科のバランスを考え最適な課題を作成します。

何を勉強するかが常に明確になっている状況で受験本番まで最短距離を進んでいただくことが可能です。

<勉強報告・個別の課題のメリット>

1. 報告をしないといけないためサボれない。

→よい意味でのプレッシャーになります。

2. ペースメーカーとなる。

→自分ひとりで勉強していると見通しが立たなくなり何を勉強したらいいかわからなくなることがあります。毎週の課題作成により勉強内容が常に明確になります。

3. 消化不良を起こさない。

→当然、生徒様ごとに入塾時の成績・得意科目や不得意科目は異なります。

生徒様個別にカリキュラムを組み課題を作成することで、上滑りや消化不良を起こさず常に最適な学習を行うことができます。

授業について

授業時間

月曜日-土曜日 18:00~21:00

入塾時に通塾希望曜日を選択していただきます。(浪人生は週3回、現役生は週2回)

- * 祝日は年末年始以外は原則として通常どおり開講。
- * 曜日変更は申請いただくことで相談可能です。
- * 体調不良時や学校行事の際などは振替申請が可能です。

授業風景



教室前方:毎週の課題に従い、自習スタイルで勉強を行う。

教室後方:週に1回、授業中に後ろにお呼びし講師が面談を行う。講師はすべて医学生であり、現在医学生講師の8割以上を当塾の卒業生(元は当塾の生徒で、医学部に進学し講師として勤務している)が占める。

授業内容

1日の授業は3時間(18:00~21:00)です。

- ・暗記練習(1時間)
- ・計算練習(1時間)
- ・自習(1時間)

暗記・計算トレーニング(計2時間)

暗記・計算練習を毎授業1時間ずつ行います。

テストのような特別なことを行っているわけではなく、暗記計算練習で仕様する問題集も1週間の課題でお伝えしているため自習形式で進めていただきます。

自習(1時間)

暗記、計算練習が終われば自習時間になります。あらかじめ週に1回、生徒様個別の課題を作成していますので課題達成に向けて進めていただきます。

週1回以上の面談

最低週1回以上、授業中に後ろにお呼びし講師が面談を行います。

面談では講師が勉強方法についてアドバイスを行うほか、相談対応を行います。

また、模試を受験した後は模試分析のフィードバック面談を行います。

医学生講師の大部分を当塾の卒業生が占めており、使用している問題集もほとんど同じです。

そのため、課題を進める中で困ったことや勉強方法、復習計画の立て方、受験期のメンタル面の相談など、具体的なアドバイスが可能です。

月1回の振り返りシートの作成と指導

通塾生は月1回振り返りシートを提出頂きます。

内容は、「勉強の進め方の反省と改善策、勉強時間の改善策、相談したい事項」等です。確認や添削の上、面談にてフィードバックを行います。

自身で勉強内容や習慣を分析して改善することは医学部合格に直結する重要な項目であり、徹底した指導を行っています。

模擬試験後の徹底したフィードバック、過去問演習

問題集を十分習得しても、試験本番で実力を発揮できなければ医学部合格はできません。試験本番で大きなミスをしたり、有効に時間を使うことができないと当然合格はできません。

問題集の習得と並行して、試験本番で実力を発揮できる訓練をする必要があります。大手予備校の模擬試験を定期的受験するほか(受験する模試は指示します)、受験生は塾内模試を行います。それぞれの模擬試験の自己分析シートを提出し添削、指導することで本番での得点を養います。

さらに、秋頃からは過去問演習を徹底的に行います。

その他

質問対応について

過去に寄せられた質問に対する補足のオリジナル解説集を塾生専用ページに充実して掲載しています。

そのため、生徒様自身で問題集を進めていただける環境を整備しています。

それでもわからない問題ももちろんでくるので、質問フォームから申請いただくことで個別の解説を作成しメールにてお送りします。

相談対応について

通塾生は週1回医学生講師による面談があるため、勉強面などのご相談は面談時に行っていただくことが可能です。

また相談フォームからいつでも申請が可能です。受験校選びなどの医学部受験に関することは塾長が回答します。

面接・小論文対策について

通塾生や通信生は、追加料金なしで面接対策講座や小論文対策講座をご利用いただけます。

また、受験前には面接小論文の対策資料の提供のほか、面接にてよく聞かれる質問事項への回答の添削、願書の添削や合格した卒業生の願書例の提供などを行っており、必要十分な面接や小論文への対策を提供しています。

自習室について

当塾での自習室の提供は行っておりません。

これまでの指導経験から、自習室の使用と成績の相関性はないことがわかっています。

なお当塾の近隣の神田、御茶ノ水、神保町エリアに[有料自習室](#)が複数ございますのでご希望の方はそちらをご検討ください。

講師陣について

講師陣は当塾の卒業生を中心とした医学生のみが担当します。

医学部受験を実際に乗り越えた医学生だからこそ、医学部受験生にとって適切なアドバイスが可能となります。

医学生講師には当塾の卒業生も多く在籍し、同じ参考書や勉強法で実際に医学部に合格した医学生と面談することで、勉強方法の修正やモチベーションの維持に繋がっています。

よくある質問

体験授業はありますか？

通塾されている生徒様の妨げとなるため、見学や体験授業、対面での対応は一切行っておりません。

お問い合わせは公式HPのお問い合わせフォームよりお願いいたします。

短期講習(夏期講習や冬期講習)はありますか？

短期講習は行っておらず、講習等による追加費用は一切ございません。

短期講習のような詰め込み学習は消化不良をおこすだけであり非常に非効率です。短期間の詰め込みで得られるものは全くなく、むしろ生活リズムの乱れ等、悪影響になると考えています。

当塾では学習習慣を維持できるよう、年末年始以外は原則として通常通り授業がございました。

年の途中からでも入塾できますか？

個別で課題管理を行うため入塾は常時受け付けています。

通塾回数は週3回で足りるのですか？(浪人生)

医学部に合格した卒業生からのフィードバックから、浪人生は週3回の通塾が最も効果的と判断しております。医学部に合格するためには生徒様自身で勉強する時間を確保することが大切ですので、通塾回数が多すぎるとその妨げとなります。しかし一人だけで勉強しているとモチベーションの低下や生活習慣の乱れにつながるため、週3回通塾することで勉強習慣やモチベーションの確立と維持に影響しています。